



会 議 録

八幡市教育委員会

開 催 日 時	平成31年3月15日（火曜日） 午後3時00分～午後3時22分		
場 所	八幡市役所 分庁舎2階 会議室A		
委 員	市 長 堀 口 文 昭 教育長 谷 口 正 弘 職務代理者 松 下 順 英	教育委員 橋 本 陽 生 教育委員 佐 野 恵 理 子 教育委員 人 見 妃 都 美	
事 務 局	教育部長 佐 野 正 樹 部付部長 辻 和 彦 教育部次長 川 中 尚 教育部次長 西 川 茂 男 部付 次長 道 本 明 典	学校教育課長 辻 博 之 社会教育課長 西 島 昭 彦 教育総務課主幹 長 尾 忠 行 教育総務課 大 崎 茂 夫	

1. 開 会

- ・市長あいさつ

2. 議 題

- (1) 八幡市教育大綱の改訂について

3. 閉 会



	内 容
[佐野部長]	それでは、定刻となりましたので、第3回総合教育会議を開会させていただきます。初めに、堀口市長からご挨拶をお願いします。
[市長]	皆さん、こんにちは。 今年度の総合教育会議も第3回目となりました。 教育委員の皆さんにはお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。 今年度は、主に、平成31年4月からの「八幡市教育大綱」の策定を協議題といたしまして、教育委員の皆様の貴重なご意見等をお聞きしてまいりました。 本日は、これまでいただきましたご意見を踏まえまして、シンプルな最終案として提示させていただき、「八幡市教育大綱」を策定したいと考えております。 今後におきましても、八幡市の教育をより良くするために、市教育委員会・学校現場と密に連携を図るとともに、より一層相互の理解を深め、そして八幡市の教育のさらなる充実に向け努力をしてまいりたいと考えております。 本日も、どうぞよろしくお願いいたします。
[佐野部長]	ありがとうございました。 それでは、これより議題に入りますので、会議の進行は、市長にお願いいたします。市長、よろしくをお願いいたします。
[市長]	それでは、次第に則りまして、八幡市教育大綱(成案)について事務局から説明願います。
[川中次長]	今回の改定に伴いまして、前回の大綱からの3年間の振り返り及び変化について説明し今回の大綱への繋がりを説明させていただきます。ここ10年間で何が変わったかと言いますと幼稚園の園児数や学校数も少なくなり小学校の児童数も減少しています。児童生徒数は、小学校がやや下がり気味、中学校については余り変わりません。小学校の児童数は平成25年を100%とした場合、5%近く減少しています。中学校の場合の変動はそれほどありません。また、私立の中学校へ行く児童数が少し増加している感じです。中学校の卒業生の進路ですが、公立高校の割合が年々少し減少し私立の割合が増えています。これは京都府における私立の安全安心の制度等の活用により進路選択の状況が広がっていると考えます。 児童虐待の相談件数が平成27年、28年、29年と倍増しています。今年度も問題になっています。特に心理的な虐待、面前DV等が非常に増えてきています。 学力面ですが、全国平均を100とすると小学校については少し下がり気味で中学校は、少しずつ上昇傾向にあります。 不登校の出現率は、全国平均と比較しても中学校の不登校数が5%上がっています。 いじめの認知件数は、中学校では下がり気味で小学校は上がっていますが昨年度と比較すると若干下がっています。この数自体は少なければ良いとは、考えていません。きめ細かく子どもたちの声を拾うことが大切だと思いますので、数値だけで悪いとは考えていません。小学校については大きな変化はありませんが、中学校は、平成26年度を境に非常に良い減少傾向です。 特別支援学級の在籍児童数は、急上昇しています。小学校においては、平成27年度からかなり増えている状態です。特別支援学級には入りませんが通級指導対象の子ども達も非常に増えてきています。中学校は、平成26年度から男山第三中学校で始まり年々増加しています。来年度からは男山中学校にも開設でき2校体制で中学校の通級支援も充実する状況になっています。 個別の支援計画を作成している子ども達の状況は、特別支援教育という形でスタートしてから非常に増えている状況になっています。本市としては、特別支援教育支援員の配置や学習支援の配置によって通常の学級内で指導することによって子ども達が落ち着いた環境で学習できる状況を取り入れていただいているので、これが非常に功を奏していますが、実態としては増加傾向にあります。就学援助率も中学校は30%とここ数年ほとんど変化



がありません。小学校で25%と少し増えている傾向にあります。

全国学力学習状況調査の質問で、学校以外で普段勉強している時間数は、平成26年では、30分以下の子ども達が40%近くいましたが、この3年間で20%程度に減少しています。家庭学習を子ども達がするようになっており、学校で出た宿題を子ども達が、するようになってきたという良い状態になっています。小学校においても2時間以上家庭学習している子ども達が、この3年間に伸びが見えます。これも成果の一つだと思います。自分には、良いところが有るかどうかの質問に肯定的な回答が上がり気味です。また、将来への夢、目標については小学校が下がり気味で中学校では上がっています。学校のきまりを守っていますかという規範意識については、中学生の伸びが凄いです。大綱を定めてからの様々な取り組みや施策の成果だと考えます。人の役にたたいが少し増加しています。子ども達の中に自尊感情が育ち、良い意味での仲間意識が育った結果がこのような状態になってきていると考えています。授業内容が良く分かりますかの質問に分かるという回答が少し上がっています。特に中学三年生の数学の上がり方が顕著に表れています。

3年間に1度、満足度調査をしています。この満足度調査の肯定的な回答割合は、平成27年度よりは若干減少していますが、80%以上の子ども達が楽しいといっています。学校の友達と上手くやっているという人間関係では、平成27年度よりすべて増えています。また、子ども達が先生の話の聞いているだけではなく自ら発表し話し合い活動を行うことが大切だと思っています。次期学習指導要領でも主体的、対話的、深い学びが重要であり、その部分が平成27年度より平成30年度がかなり増えています。先生の教え方が分かりやすいについても、小学校中学校とも平成27年度より平成30年度が増えています。これらの結果を見ると先生方の授業改善が進んでいる成果だと考えています。

保護者に関しては、学校への行き易さについても平成27年度と平成30年度を比較すると行き易いが上がっています。家庭、地域、学校が一体となったネットワーク作り、学校地域支援本部でお世話になっていますが、認知度が上がっていると思います。教職員の接し方や雰囲気等々も80%を超えていますので大きな変化は、ありませんが若干高くなっていると思います。学校の学習指導、学校の学習全般についても評価が上がっていますし、食生活、食育の推進については、中学校給食がこの3年間に始まったので保護者の意識も高くなったと思います。学校の取り組みについても平成27年度より平成30年度の方が高い評価を頂いています。

しかし、市全体の取り組みとしては平成27年度より平成30年度の方が下がっています。この間に大きなことを実施していません。耐震改修やデジタルTVやコンピュータの整備等の配置をしていないので少し低くなっていると感じます。

市の総合計画が策定されたなかでの都市将来像、トータル的な街づくりの進め方の方向性、就学前の保育の充実と課題、学校教育の課題と方向性、このようなものを受けて今回基本理念について、少し変更させていただきました。基本理念につきましては、学校教育、社会教育、対象年齢に関わらず本市の教育全てに係るものとしています。保護者の家庭教育からお年寄りの生涯教育等根本としての考え方として捉えさせていただきました。体験活動を通して子どもの良く生きる力の育成、家庭・学校・地域・関係機関の連携による教育の推進、すべての市民のための生涯生活とスポーツ、文化芸術活動の推進とし理念としました。

基本方針については、構想はものごとの全体としての内容、それを実現するための方法などについて、考えをめぐらし組み立てることであり、方針は、ある事をするのに当たって定めた、その行動や処置の方向・原則とのことから方針へ文言整理しています。

特に文言の整理として学校教育においては、質の高い学力を育成すると整理します。指導強化の部分を指導力の向上に文言整理しました。

青少年の健全育成の推進の部分では、育成を支える取組を進める中で、と文言の整理をしています。



[市 長]

また、大綱が対象とする期間を平成31年4月から5年間としました。
以上整理させていただき提案させていただきますので、よろしくお願いします。

ありがとうございました。

今の説明等にご意見、ご質問等は、ございますか。

無いようなので、八幡市教育大綱をご承認いただいたという事でよろしいでしょうか。
それでは、この成案を八幡市教育大綱として、決定させていただきます。

どうもありがとうございました。

これをもって、第3回総合教育会議を終了いたします。

